

ネットワークカメラ

設置説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。
必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この設置説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この設置説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IPELA HD SNC-ER585/ER585H

© 2012 Sony Corporation Printed in China



お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

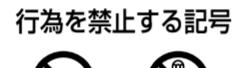
安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

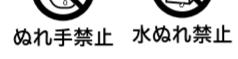
- 安全のための注意事項を守る。
- 故障したり破損したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談する。

警告表示の意味

注意を促す記号



行為を禁止する記号



分解禁止



ねれ手禁止



水ぬれ禁止



行為を指示する記号



警告 下記の注意事項を守らないと、火災や感電、落華により死亡や大けがにつながることがあります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

警告 下記の注意を守らないと、火災や感電、落華により死亡や大けがにつながることがあります。

注意 設置や配線工事のときに屋内配線や屋内配管を傷つけないよう気をつける

特に壁に穴を開けたり、電源コードやケーブルを固定したりするときは充分に気をつけてください。屋内配線や屋内配管の傷は、火災や感電、漏電の原因となります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

設置説明書に記されている電源コードや、接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

指示

指定された電源電圧で使用する

指定されたものと異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

指示

設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

壁や天井など高所への設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。

また、1年には一度、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて、点検の間隔を短くしてください。

製品の設置は充分な強度のある場所に取り付ける

强度の不充分な場所に設置すると、落下、転倒などにより、けがの原因となります。

指示

機器や部品の取り付けは正しく行う

機器や部品の取り付け方や、本機の分離・合体の方法を誤ると、本機や部品が落として、けがの原因となることがあります。

設置説明書に記載されている方法に従って、確実に行ってください。

ねじ・ボルトはしっかりと締め付ける

取り付ける場所、材質によって適切な取り付けをしてください。

付属のワイヤーロープを利用して取りつける

高所での作業では機器の落下により通行人等に重大な危害を与えることがあります。

油煙、湯気の多い場所には設置しない

上記のような場所やこの設置説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

高所等の強風が予想される場所に設置しない

• 高所では地上に比べてより強い風が吹きます。
• ビル風等、場所によっては地上でも強風の吹くところがあります。

塩害や腐食性ガスが発生する場所へは設置しない

金属の腐食により破壊、落下の原因になります。

可燃性ガスの発生する場所へは設置しない



本機は防爆機器ではありません。
本機の運転により爆発・火災の危険があります。

ひさしなどによる防雪



- 積雪の重みにより、実際の重さが増す可能性があります。
- 積雪により本機周辺の通風が阻害される可能性があります。

振動のある場所へは設置しない



軽度の振動があるときは、画像がブレる場合があります。

電源コードや接続ケーブルを傷つけない



電源コードや接続ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 電源コードに重いものを載せたり、引っ張ったりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

不安定な場所に設置しない



次のような場所に設置すると倒れたり落ちたりして、故障やけがの原因になることがあります。

- ぐらついた台の上
- 傾いたところ
- 振動や衝撃のかかるところ

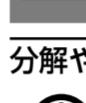
また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

電源コードやケーブルを窓やドアにはさみ込まない



コードやケーブルが傷つくと、ショートによる火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない



分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。

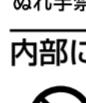
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

ねれた手で電源プラグをさわらない



ねれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止



内部に水や異物を入れない



水や異物が入ると、火災の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機が接続されている電源供給機器の電源コードや本機の接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

移動の際は電源コードや接続ケーブルを抜く



接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

指定されたマウントアームを使用する



指定以外のマウントアームを使用すると、機器内部への浸水や故障の原因となります。必ず指定のマウントアームを使用してください。

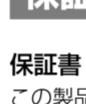
熱器具の近くには置かない



熱器具に近づけたり、加熱したりしない

火傷の原因になることがあります。

保証書とアフターサービス



指定期間内にアフターサービスを受ける場合は、必ず保証書と一緒に提出してください。

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも真冬の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはお近くのソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

使用上のご注意

ご使用の前に

開梱してから、結露がある場合には結露がなくなったら電源を入れてください。

データ・セキュリティについて

• ネットワークカメラを使用することにより、インターネットを通じて容易にカメラ映像にアクセスすることができます。一方で第三者によるネットワークを通じてモニタリング画像および音声を閲覧、使用等される可能性があります。ネットワークカメラの設置およびご利用については、被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

• ネットワークカメラへのアクセス権限は、ユーザー名およびパスワードを設定することにより行われます。それ以上のカメラによる認証作業は行われません。

• 諸事情による本ネットワークカメラに関連するサービスの停止、中断については、ソニーは一切の責任を負いません。

• ワイヤレスLANをご使用時にはセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生した場合には弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。また、記録されたデータの損失、修復の責任も負いかねます。

• 必ず事前に記録アートを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部のストレージなどを使用中、万一これらが不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

• お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

• 本製品の使用によりデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

本機を使用したシステムで撮影された個人を識別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

• 本製品を使用して記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本製品、または記録媒体が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いを充分に注意してください。

個人情報について

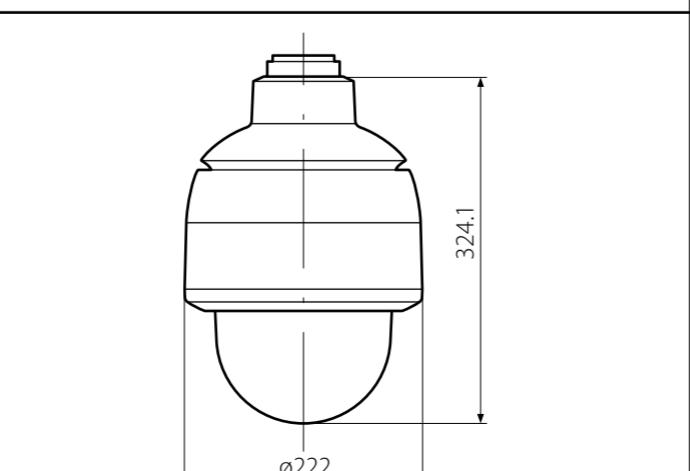
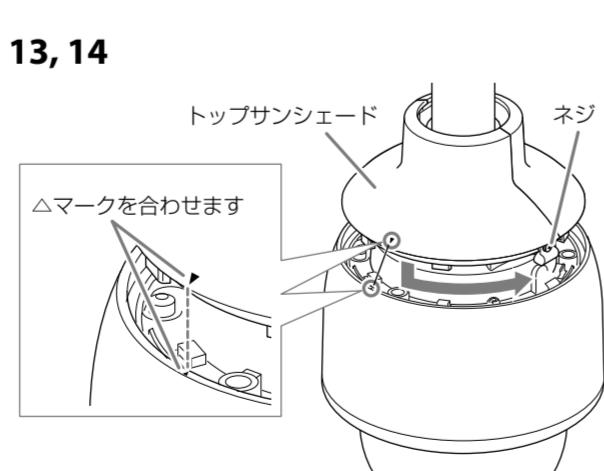
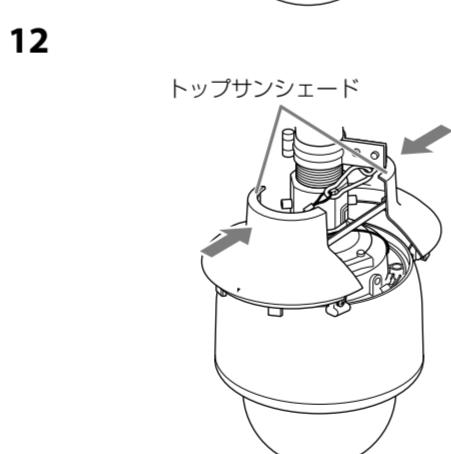
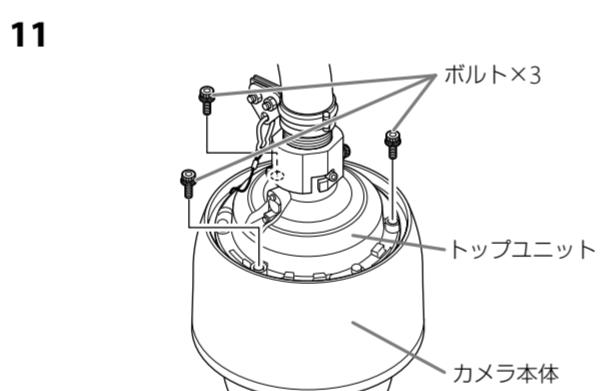
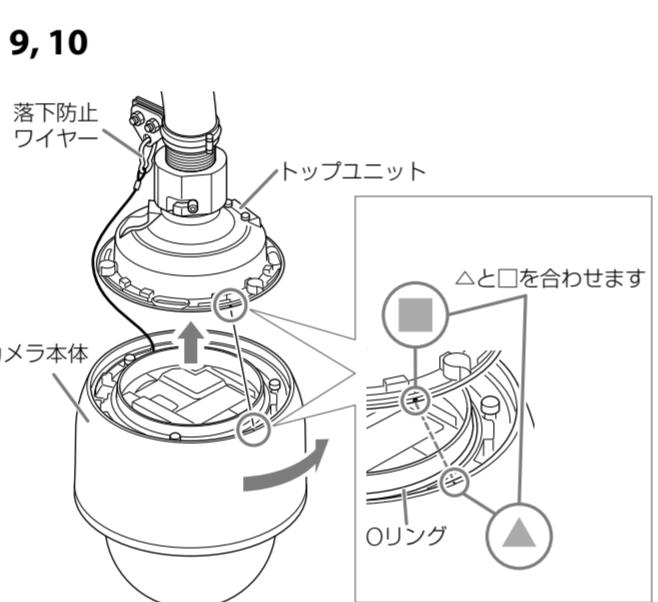
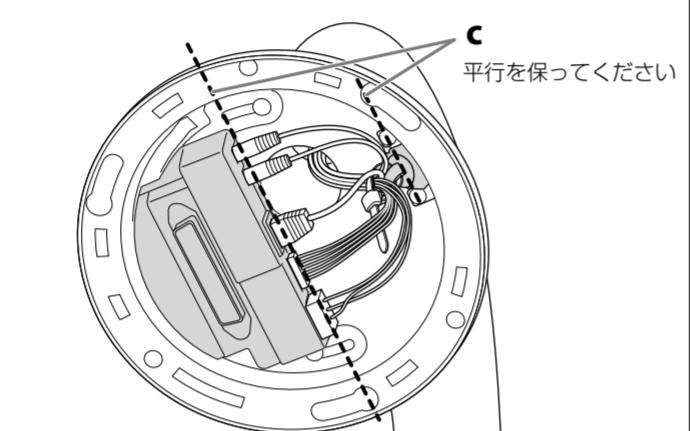
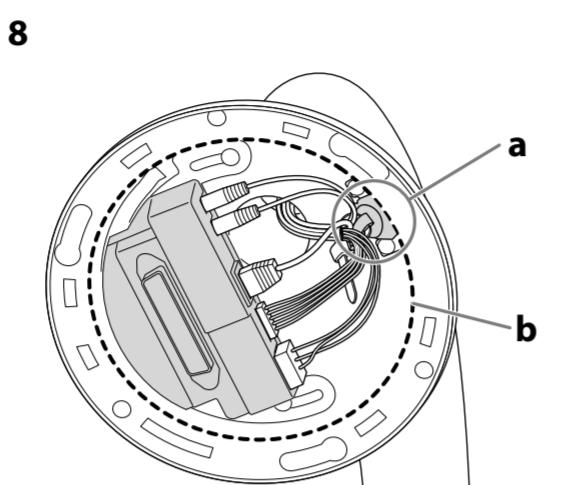
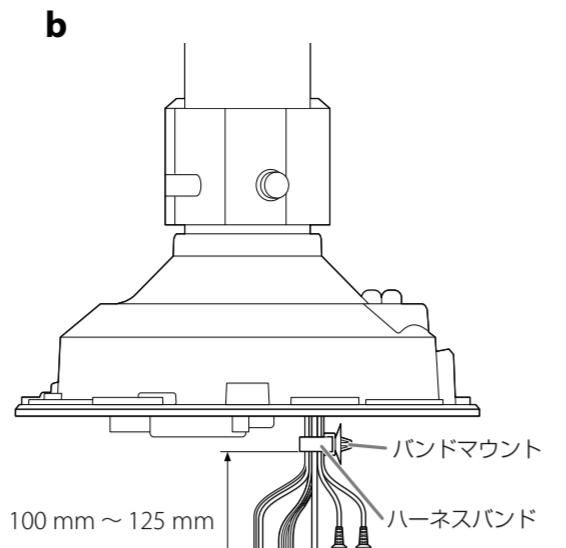
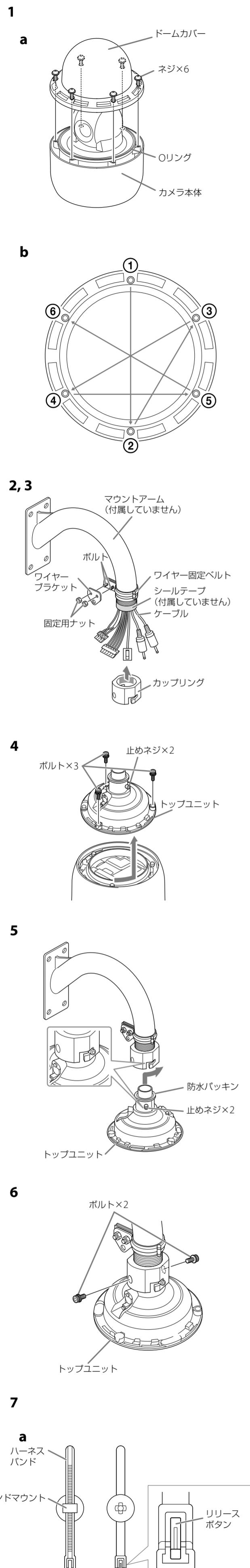
本機を使用したシステムで撮影された個人を識別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

• 本製品を使用して記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本製品、または記録媒体が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いを充分に注意してください。

個人情報について

本機を使用したシステムで撮影された個人を識別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

D 設置のしかた(カメラ本体)



設置

ご注意

- 電源コードや接続ケーブル、コネクターに浸水がないように設置してください。機器内部への浸水や故障の原因となります。
- 本機を取り付けることができるマウントアーム(付属していません)は、取付部のネジがNPT 1 1/2"のものおよびソニー販売会社指定のものを使用してください。指定以外のマウントアームを使用すると、機器内部への浸水や故障の原因となります。
- レンズの位置が水平から上の範囲の場合、倍率や角度によって画像にボケや歪みが生じる場合があります。
- ドームカバーの傷や汚れ防止のため、設置が完了するまでドームカバーの保護シートをついたままにしてください。

△警告

- 壁など高所へ設置する際は、専門の工事業者に依頼してください。
- 設置するときは、本体とマウントアームを含む重量に充分耐えられる強度のある場所に確実に取り付けてください。充分な強度がないと落して大けがの原因となります。
- 落下事故防止のため、落下防止ワイヤーを必ず使用してください。
- ボルトがゆるむとカメラ本体や部品が落または、水漏れをする可能性があります。ゆるまないように、しっかりとボルトやネジを締めつけてください。
- 1年一度は取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

△注意

取り付けネジは付属のネジをご使用ください。付属品以外のネジを使用した場合、本体内部を破損する恐れがあります。

設置方法

D

設置する前に

マウントアーム(付属していません)の取扱説明書に従って、壁などに必要なネジ穴や接続ケーブル用の穴を開け、マウントアームを取り付けます。その後、マウントアームのネジ部にシールテープ(付属していません)を巻きつけてください。

設置のしかた(カメラ本体)

- ドームカバーをカメラ本体に取り付ける。(a)
その後、ネジ6本を指定の順番(1 ~ 6の順番)で締めつける。(b)

ご注意

- Oリングの仮止めテープは、ドームカバーを取り付ける前に剥がしてください。
- Oリングにねじれや浮きがなく、溝にしっかりとおさまっていることを確認してください。取り付けてください。Oリングが正しくおさまっていないと、防水性能が満たせなくなる原因となります。
- ネジ6本は、1.2N・mで締めつけてください。

- マウントアームに付属のワイヤー固定ベルトとワイヤーブラケットを取り付ける。その後、ナット2個で締めつけ、しっかりとマウントアームに固定する。

ご注意

ボルト2本は、5.2N・mで締めつけてください。

- 付属のカップリングをマウントアームに回して取り付ける。

ご注意

カップリングがゆるむとカメラ本体が落下する可能性があります。ゆるまないように、しっかりと止めてください。

- カメラ本体の上部からボルト3本をはずし、カメラ本体を突きあたるまで回転させる。その後、カメラ本体からトップユニットを上へ引き抜く。ボルトをゆるめるために対辺5 mmの六角レンチを用意してください。

- マウントアームに、トップユニットを取り付ける。
トップユニットに固定されている止めネジをカップリングの溝に入れ、矢印の方向に突きあたるまで回転させてください。

ご注意

- 防水パッキンの仮止めテープは、マウントアームに取り付ける前に剥がしてください。
- 止めネジがゆるんでないかを確認してください。ゆるんでいる場合は、カメラ本体が落下する可能性があるため、5.2N・mで締めつけてください。

- 防水パッキンがトップユニットにねじれや浮きがなく、しっかりと組まれていることを確認してから取り付けてください。防水パッキンが正しく組まれていないと、防水性能が満たせなくなる原因となります。

- 付属のボルト2本をカップリングのネジ穴に取り付け、締めつける。

ご注意

ボルト2本は、5.2N・mで締めつけてください。

- 付属のハーネスバンドをバンドマウントの穴に通し(a)、ケーブルの先端から100mm ~ 125mmのところでケーブルを結束する(b)。結合位置が適切でない場合はハーネスバンドのリリースボタンを押し、ハーネスバンドをゆるめてから結束しなおしてください。

- バンドマウントをハーネスホルダーに固定し(a)、ケーブルを接続する。ケーブルはトップユニット内部(b)におさめる。
トップユニットのケーブル接続面がハーネスホルダーと平行であることを確認してください。(c)

- カメラ本体の落下防止ワイヤーをワイヤーブラケットの穴に引っかける。

- カメラ本体の三角マークとトップユニットの四角マークの位置を合わせ、カメラ本体をトップユニットへ押し込む。その後、矢印の方向に突きあたるまで回転させる。

ご注意

- Oリングにねじれや浮きがなく、溝にしっかりとおさまっていることを確認してください。取り付けてください。Oリングが正しくおさまっていないと、防水性能が満たせなくなる原因となります。
- カメラ本体をトップユニットへ押し込む前にトップユニットのカメラ接続端子がハーネスホルダーと平行であることを確認してください。
- ケーブルの挿み込みを防ぐため、ケーブルをトップユニット内部に押し込んでからカメラ本体を取り付けてください。

- カメラ本体とトップユニットを手順4で取りはずしたボルト3本で締めつける。

ご注意

ボルト3本は、5.2N・mで締めつけてください。

- 付属のトップサンシェードを左右に分割し、カメラ本体上部で合体して元の形状に戻す。

ご注意

- 落下防止ワイヤーはトップサンシェードの中を通してください。
- スナップロックをトップサンシェードに挟み込まないように取り付けてください。

- カメラ本体とトップサンシェードの三角マークの位置を合わせて、トップサンシェードをカメラ本体へ押し込む。その後、矢印の方向に突きあたるまで回転させる。

- トップサンシェードについているネジで、カメラ本体とトップサンシェードを固定する。

ご注意

- トップサンシェードは、直射日光によって機内温度が上がるのを防ぐため、必ず取り付けてください。
- ネジは、1.2N・mで締めつけてください。

カメラのはずしかた

- 「設置のしかた(カメラ本体)」の手順14でトップサンシェードを固定したネジ1本をはずし、トップサンシェードを取りはずす。

- 「設置のしかた(カメラ本体)」の手順11で取り付けたボルト3本をはずす。

- カメラ本体の三角マークとトップユニットの四角マークの位置が合うところまで、トップユニットを回転させてカメラ本体を下に引き抜く。

- カメラ本体の落下防止ワイヤーをワイヤーブラケットの穴からはずす。

接続

ネットワークへの接続

市販のネットワークケーブルを使って、ネットワークのルーターまたはハブを接続します。

電源への接続

本機は、次の方法で電源を接続できます。

- AC 24 V

AC 24 Vの電源供給装置を本機の電源入力端子へ接続します。電源ケーブルは同梱していません。

- AC 24 Vは、商用電源に対して絶縁された電源を使用してください。

電源の使用電圧範囲は次のとおりです。

AC 24 V: 16.6 V ~ 26.4 V

- AC 24 Vの配線には、UL ケーブル(VW-1 style 10368)を使用してください。

ご注意

必ず#2 (中央)のアース端子の接続をしてください。

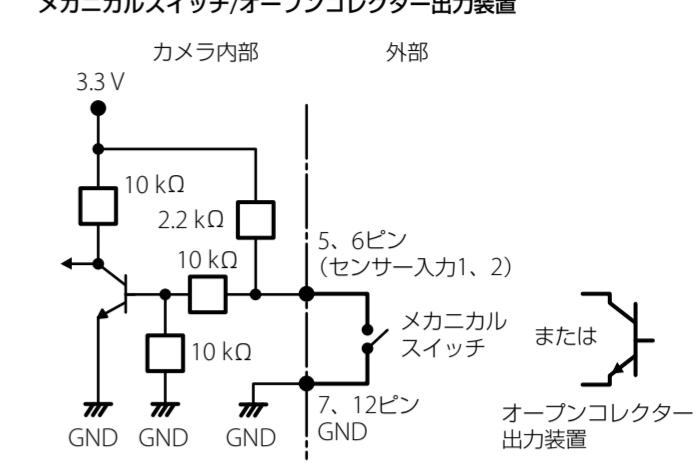
推奨電源ケーブル

AC 24 Vの場合

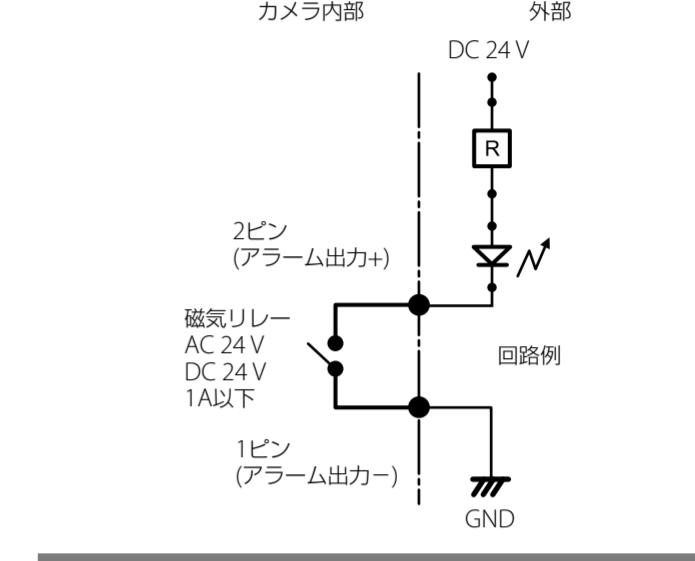
ケーブル(AWG)	#22	#20	#18	#16
最大ケーブル長(m)	5	8	15	21

I/Oケーブルの接続

センサー入力への配線図
メカニカルスイッチ/オープンコレクタ出力装置



アラーム出力への配線図



主な仕様

圧縮方式

映像圧縮方式 JPEG/MPEG4/H.264
音声圧縮方式 G.711/G.726 (40,32,24,16 kbps)

最大フレームレート 30 fps

カメラ

撮像素子 1/2.8型Exmor CMOS

同期方式 内部同期

最低被写体照度 1.7 lx (シャッタースピード1/30秒、露出フルオート、50IRE [P])

映像S/N 50 dB(ゲイン0 dB)

レンズ 焦点距離 f=4.3 mm to 129.0 mm

最大口径比 F1.6 to F4.7

最近最遠撮影距離 300 mm

メカ駆動

パン駆動 角度: 360°連続回転

速度: 300°/秒(最高)

チルト駆動 角度: 210°(自動画面反転機能つき)

速度: 300°/秒(最高)

インターフェース

LAN 10BASE-T/100BASE-TX、オートネゴシエーション (RJ-45)

I/O出入力 センサー入力: ×2、MAKE接点

アラーム出力: ×1 (最大AC/DC 24 V, 1 A)

SDメモリーカードスロット メカニカルリレー出力、本体とは電気的に絶縁

マイク入力 ミニジャック(モノラル)

フラグメントワード方式対応(基準電圧2.5 VDC)

推奨負荷インピーダンス2.2 kΩ

ライン出力 ミニジャック(モノラル)、最大出力レベル: 1 Vrms

その他 電源電圧 AC 24 V ±10% 50 Hz/60 Hz

消費電力 SNC-ER585

最大76W

SNC-ER585H

最大26W

SNC-ER585

-40°C ~ +60°C

起動温度範囲: -40°C ~ +60°C

SNC-ER585H

最大温度範囲: -5°C ~ +65°C (2時間使用時)

継続使用温度範囲: -5°C ~ +60°C

起動温度範囲: 0°C ~ +65°C

保存温度 20% ~ 80%